

5月27日の高知県内の感染者数は38人を記録し、過去最多となりました。高知県内では、感染力がより強いとされる変異株が感染の主流となっています。**若い人も感染したり、重症化したりする確率が高まっています。**基本的な感染症対策を徹底してください。

新型コロナウイルス感染症対応 特別警戒に！

特別警戒（赤）は、高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安の上から2番目のステージにあたります。高知県の新型コロナウイルス感染症に関するホームページで対応について確認してみてください。

基本的な感染症対策の徹底を！



（1）マスクの着用、3密の回避を徹底してください。

マスクを着用していても感染する事例が増加しています。

マスクを着用したうえで、換気の悪い場所や人混みに行かない、人と話すときは2m程度の距離を取るなど、マスク＋ソーシャルディスタンスを徹底しましょう。

（2）手洗い・手指消毒をこまめに行いましょう。

食事の前後、外出前後、トイレの後、共有物品を触ったときなどは、必ず石鹸やハンドソープで手を洗いましょう。

近くに手洗い場がない場合には、アルコールで手指消毒をしましょう。

（3）体調が悪いときは、外出せずに自宅で休養しましょう。

平熱を超える発熱や風邪症状（咳、鼻水、喉の痛みなど）、だるさ、息苦しさ、味覚や嗅覚の異常がある場合などは外出をしないでください。病院を受診する場合は、必ず事前に連絡をして、病院の指示に従いましょう。新型コロナウイルスの検査を受ける場合や、濃厚接触者や接触者になったと保健所から連絡があった場合は、すぐに学校に連絡してください。

《新型コロナウイルス感染症の差別や偏見を防止しよう》

感染者や医療従事者への差別や偏見が全国各地で問題になっています。差別や偏見に対する恐怖が受診の遅れにつながり、検査を受けずに感染の拡大や、重症化につながります。

いつ誰が感染してもおかしくない状況です。「お大事に」「いつもありがとう」など、思いやりの気持ちや感謝の気持ちを言葉にできる山田高校生であってほしいと思います😊

偏見や差別による感染症拡大のメカニズム

偏見や差別が広がると、自分自身の感染を疑った人がそれを隠すようになり、結果として感染症の拡大につながる。

新型コロナウイルス
感染症

未知のウイルスで、ワクチンも開発されていないため、不安な気持ちになる。さらにうわさ話やSNSの情報等によって不安が大きくなる。

偏見
差別

不安

不安が怖れとなり思考力や判断力が弱まる。ウイルスを遠ざけたいという気持ちから、特定の人たちに「危険」というレッテルを貼り、責めたり排除したりすることで安心感を得ようとする。